

平成27年 和水町成人式

〈門出を迎えた二十歳の人々。そして、歩み出す新たな第一歩〉



1月4日(日)、和水町中央公民館で、平成27年和水町成人式が開催されました。新成人109人のうち93人が出席し、久々の再会に歓喜の声が絶えず、懐かしい顔を見つけては一緒に写真を撮ったりする新成人たちの笑顔であふれ、会場ではたくさんの方の笑い声で満たされていました。

式典では、福原町長や町内小中学生からの暖かいお祝いのメッセージが送られ、新成人の意見発表では、荒木達也さん(長小田)と小川幸乃さん(中和仁)が代表して、決意やお世話になったすべての人への感謝の言葉を発表されました。

式典後には、恩師からのメッセージや中学校時代の写真などをとくに、新成人代表者によって作成されたビデオレターが上映され、式典の厳粛な雰囲気とはうって変わって笑い声が絶えないものとなり、大変素晴らしい成人式になりました。

大人の二歩を踏み出した新成人の皆さんの、今後益々のご活躍を期待しています。



荒木達也さん (長小田)



小川幸乃さん (中和仁)

二十歳の想い／新成人者意見発表

私は5歳から地元の恩師に導かれ、高校卒業まで柔道を続けました。健康な体、多少の困難に耐えられる心や礼儀を学ぶことができ、「心・技・体」を身に付けることができました。指導者や先輩方の教えを受け、役に立つ礼儀作法や挨拶などを学び、自分にとって貴重な体験となりました。

高校卒業後は、将来の夢である建築士を目指し、必要な知識や資格を身に付けるため日々勉強しています。地元和水町に戻り、貢献できれば幸いです。

人生で大きな困難や壁に突き当たり悩み苦しんだ時、これまで教えていただいた経験、アドバイスを真摯に受け止め前進していきます。親からいただいた生命を大切に、感謝の気持ちを忘れず、優しく、力強く、素直に生きていくことを誓います。

私は高校卒業後、親元を離れ、保育士を目指し、大学に進学しました。仲間の刺激を受けながら、勉強、実習に励み、就職の内定を頂いたのは、和水町で過ごしたおかげです。この経験、体験を大切に、私自身も共に育ち合うことのできる保育士でありたいです。

小中学生時代を思い返すと、今の私を築き上げてきた何か大きなものがあつたと確信できます。大自然に囲まれ伸び伸びと過ごせる環境、仲間と切磋琢磨しながら励んだ部活動、最後までがき緊張の中臨んだ受験などの経験を通して、仲間との絆を深め、そして自分の中に吸収できたことが、今の私を作っていると考えます。そして20年で培ったことを自分の将来や社会に活かすことが私たちに求められることです。私もこれからの人生で和水町に貢献し、恩返しができるばと考えています。

